

特 集

縦隔を覗き，さらにくり抜く これからの食道・胃外科手術

食道胃接合部癌の増加に伴い，その手術術式が学会などで議論される機会が増えました．古くは食道外科医，胃外科医が各々の考え方に基づいて手術を行い，同一施設内でも医師によって術式が異なることもありました．近年，日本胃癌学会と日本食道学会の合同プロジェクトとして接合部癌に対するガイドラインが作成され，情報・見解が共有されつつあります．

本特集号ではこの流れで，特に接合部癌に対する経裂孔的なアプローチに関する最新の知見をまとめ，同時に最近脚光を浴びている非胸腔アプローチによる食道癌手術にもスポットライトを当てました．下縦隔のみならず縦隔全体の新しい解剖学的所見について理解を深めていただけたら幸いです．